



1\_パラトライアスロンでは、身体障がい者が水泳、自転車、陸上の3種目を連続して行い、総距離25.75キロの合計タイムを競う（ASTCアジアパラトライアスロン選手権）2\_世界ITUパラトライアスロンワールドカップで2位。入賞した喜びはひとしお



## 目標は東京パラリンピック 世界で戦える 選手になる

今年初のアジアタイトル獲得  
 本場の自転車競技を知りさらなる飛躍へ

事故を乗り越え半年でレースに復帰

「学生のころから、制服より練習着を着ている時間の方が長かったですね」  
 今年10月から、東京でのアスリート就職が決まった梶さん。チームでの練習の他に、平日は自分でマネジメントした練習を行っています。自転車で8時間かけて福井県まで行くこともあるという、孤独で過酷な練習。それでも、自転車が好きだから続けられると梶さんは笑います。

「事故に遭ったのは、中学に進学したばかりで、自転車の技術も体力もこれからという時でした。入院している間、考えていたのは自転車のことばかり。退院の1カ月後には、片腕で自転車に乗っていました」

リハビリを乗り越え、半年後にはまひの残る右手でレースに復帰。現在は、健常者と同じシクロクロス（自転車競技の一種）の大会に出場するとともに、パラトライアスロンにも出場しています。

世界を相手に走らななきゃ意味がない

昨年、競技自転車の本場ベルギーへ単身留学。毎週レースに出場し、世界で戦う覚悟を決めたと話します。

「レースに懸ける思いがまったく違いました。食らいつきたい、ここで走らななきゃ意味がないと思ったんです。今は、東京パラリンピックへの出場が目標。その先は分かりませんが、自転車で走り続けることは変わりません」



自転車競技選手 / JIU パラトライアスロン強化指定選手

## 梶 鉄輝さん Kaji Tetsuki

川西市出身在住。18歳。6歳から自転車競技を始め、シクロクロス・トライアスロンのチームに所属。練習中の事故で右腕に大きな障がいを負うが、1年後には片腕でレースに復帰。17歳からパラトライアスロンに出場し、ASTCアジアパラトライアスロン選手権で優勝を果たす。現在は、JIUパラトライアスロン強化指定選手として東京パラリンピック出場をめざす。

### CHECK & QUIZ

次の空欄（○の中）を埋めてください。  
 1：特集 私と○ちのつながり方 2：11月○日開催 川西まつり&川西バル  
 クイズ正解者の中から図書カード（1,000円分）を5人に差し上げます（正解者多数の場合は抽選。当選者のみに送付します）。応募方法：市ホームページ（右の2次元コードからアクセス可）から必要事項を送信するか、ハガキにクイズの答え、住所、氏名、年齢、電話番号、興味のある記事と感想を書き、11月9日（消印有効）までに〒666-8501・秘書広報課「クイズ」係へ。  
 ※10月号の正解は（子）（山）で、80件の応募がありました。



### 9月末現在の人口

男	74,932人	(- 23)
女	83,295人	(- 22)
計	158,227人	(- 45)
世帯数	69,780世帯	(+ 8)

